



平成 19 年 11 月 7 日

各 位

会社名 株式会社 デイ・シイ
代表者名 代表取締役社長 埴本 隆弘
(東証一部・コード番号: 5234)
問合せ先 取締役執行役員管理本部長 山口 信利
電話番号 TEL (044) 223-4751

子会社 (エバタ株式会社) の業績予想の修正に関するお知らせ

当社の連結子会社であるエバタ株式会社 (コード番号 5278 ジャスダック) は、別添資料のとおり平成 20 年 3 月期の業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

なお、本日公表した当社の平成 20 年 3 月期中間業績予想 (連結) 及び通期業績予想 (連結) につきましては、同社の同中間業績予想及び通期業績予想の変動要因を織り込み済みであります。

以 上

(別添資料)



平成 19 年 11 月 7 日

各 位



会 社 名 エバタ株式会社
代表者名 代表取締役社長 齋 藤 章
(JASDAQ・コード 5278)
問 合 せ 先 取締役常務執行役員
役職・氏名 管理本部長 井 上 保 生
電話 (代表) 03-3600-1161

平成 20 年 3 月期中間業績予想との差異及び
通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 5 月 15 日付、当社「平成 19 年 3 月期 決算短信 (非連結)」において発表いたしました平成 20 年 3 月期の業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日) を下記のとおり修正いたします。

1. 業績予想

(1) 中間期 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日) (単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり中間純利益
前回予想 (A)	3,290	50	60	60	4円73銭
今回予想 (B)	3,054	△13	13	△46	△3円66銭
増減額 (B-A)	△236	△63	△47	△106	△8円37銭
増減率	△7.2%	—	△78.3%	—	—

(2) 通期 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日) (単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり期末純利益
前回予想 (A)	7,000	190	200	200	15円77銭
今回予想 (B)	6,500	60	90	40	3円16銭
増減額 (B-A)	△500	△130	△110	△160	△12円63銭
増減率	△7.1%	△68.4%	△55.0%	△80.0%	△80.0%

2. 修正理由

(1) 中間期の売上高は 3,054 百万円 (当初予想比 236 百万円減、前中間期比 155 百万円減)、営業損失は 13 百万円 (当初予想比 63 百万円減、前中間期比 53 百万円減)、経常利益は 13 百万円 (当初予想比 47 百万円減、前中間期比 39 百万円減)、中間純損失は 46 百万円 (当初予想比 106 百万円減、前中間期比 81 百万円減) となる見込みであります。

当社管路製品部門では、ライバル社製品との価格競争による販売単価の下落や原油高による原材料の高騰などの影響を受け製造コストが悪化し、経常利益が大幅に予想を下回る見込みです。そのような状況の中、原価低減や経費削減に努め、雨水貯留浸透製品を中心とした販促活動を積極的に行った結果、売上高につきましては 1,427 百万円と前年同期比 1.6% の減収にとどまる見込みであります。

生コンクリート部門におきましては、建物の高層化等による高強度コンクリートの需要が増し、営業活動を積極的に行いましたが、改正建築基準法施行後は審査遅れなどの影響で出

- 荷がやや落ち込み、売上高は前年同期比 8.8%減少の 1,111 百万円となり。セメント・建材部門においても売上高は、前年同期比 4.7%減の 515 百万円となる見込みです。
- (2) 通期につきましても、引き続き建設資材関連の環境は厳しい状況ではありますが、雨水貯留浸透製品の販売拡大と原価低減、経費削減に努める所存であります。

3. ご参考：前期の実績（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日） （単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり配当金
中間期（4 / 1 ～ 9 / 3 0）	3,209	52	35	0 円 00 銭
通 期（4 / 1 ～ 3 / 3 1）	6,358	131	△287	3 円 00 銭

※ 業績予想につきましては、現時点で当社が、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上